

令和3年度教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修 ～SDGs達成に向けた教育推進リーダー育成のための環境教育・ESD実践講座～ を実施しました



環境省の河地謙典氏から
ご挨拶いただきました。



目白大学人間学部児童教育学科の石田好広教授より御講義いただきました。

令和3年12月2日(木)本校視聴覚室において、標記研修を実施いたしました。昨年は感染症蔓延のなかで実施できませんでしたが、島内の小学校、中学校と高等学校の教員が20名以上集まり、「大島の魅力と課題」を分析し、その中で「育成したい児童・生徒像や大島の未来像」を協議したうえで、「ホールスクールアプローチ」によるESDの展開方法について学ぶことができました。若手から中堅の先生方による、小中高の垣根を超えたグループワークにより、いま自分たちにできる、自分たちから始めるSDGs達成を目指した取組が見えてきたのではないかと思います。

歴史

ジオパークを擁するこの大島において、小中高が連携して環境を守り、継承していくことができる児童・生徒を育てていくことにより、大島の活性化に結び付くことになれば幸いです。学校間の教育活動に関する情報交換や交流の機会をもっと持ち、連携していきたいと思う先生方の感想が多くでたことは、今後につながる大きな成果であったと思います。(校長)



大島の魅力と課題は何かについて、活発な意見交換が行われました。



音楽

授業のなかにSDGsを意識させることができるところがあるか、異校種や他教科の先生方から意見をもらい、年間授業計画に組み込んでいった結果を発表し、情報を共有しました。

